

宮古発

復興道路の工事を見学

今年度中の開通を目指して工事が進められている山田町と宮古市を結ぶ山田宮古道路の津軽石トンネルを地元の津軽石中学校の3年生41人が見学に訪れました。トンネルは今年2月に開通していて、今は耐久性の高いコンクリートを使った舗装が進められています。生徒たちはふるさとの復興に大きな役割を担う工事の最前線を熱心に見て回っていました。
(7/13 ニュースエコー)



宮古発

浄土ヶ浜で海開き

県内のトップを切って宮古市の浄土ヶ浜が海開きし、臨時の警察官警戒所も設置されました。今年、県内の海水浴場は震災で大きな被害を受けた山田町の浦の浜海水浴場が砂浜を再生して震災後初めて海開きするほか、大船渡市の越喜来浪板海水浴場も震災後初の海開きを迎えます。
(7/15 ニュース)



大船渡発

小学生にカブトムシ

秋田市の金足農業高校・造園緑地科の生徒35人が、被災地の子どもたちにカブトムシを届けようと大船渡市の赤崎小学校を訪れました。庭園の整備で見つけた幼虫を育ててきたもので37匹います。生徒たちはこのあと大槌町の大槌学園と吉里吉里学園にもそれぞれ10匹ずつをプレゼントしました。
(7/18 ニュースエコー)



釜石発

祈りのパークの最終報告

釜石市が多数の死者が出た鶴住居町に整備する震災犠牲者の追悼施設・「祈りのパーク」の内容を検討してきた委員会が、野田市長に最終報告書を提出しました。報告書では多くの人が避難して犠牲となった防災センターで起きたことを記すモニュメントを設置するとしていますが、具体的な設置場所や形は示されませんでした。市では市民に広く理解を得たうえで、再来年2月の完成を目指して整備に取り組むことにしています。
(7/18 ニュースエコー)



陸前高田発

祭り本番に向け練習

震災前、多くの踊り手が参加して賑わった陸前高田市の夏祭り・「チャオチャオ陸前高田道中踊り」が7年ぶりに開催するにあわせ、踊りの講習会が開かれました。市民70人は、市の芸術文化協会の及川セイ子さんを講師に、「チャオチャオ陸前高田」や「高田音頭」などの踊りを熱心に練習していました。祭りは今月29日にかさ上げされた商業地にある「まちなか広場」周辺で行われます。
(7/18 ニュース)



大船渡発

さんりく元気ラジオ!

(ワイドステーション内 毎週水曜日放送)
大船渡「FMねまらいん」の伊藤こずえさんが、7年ぶりに復活する「陸前高田道中おどり」について伝えてくれました。かつて陸前高田市の一大行事だったので、「皆、元気であることを天に伝える」という鎮魂の想いがあります。「道中おどり」の曲の中には「チャオチャオ陸前高田」というネーミングで、親交のあったパラオ共和国の言葉「チャオ」を使ったアップテンポな楽しい曲もあるということです。
(7/19)



「IBC復興支援室だより」facebookでも発信中
詳細はIB公式サイトから <http://www.ibc.co.jp/>
IBC復興支援室事務局 019-623-3122